



週間情報



No.0745

発行日 令和7年11月25日

発行所 全国消防長会
一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03-4500-6622

両会の動き

◆ 令和7年度全国消防長会総務委員会秋季常任委員会を開催

全国消防長会総務委員会

令和7年11月20日（木）、神奈川県横浜市（横浜市消防局 5階本部会議室）において、令和7年度全国消防長会総務委員会秋季常任委員会を開催しました。

会議の議案などは、次のとおりです。

【審議事項】

- 1 第35回全国消防長会総務委員会における議題選定および会議方式について
- 2 次期開催地について

【情報交換】

消防の広域化および連携・協力について

【情報提供】

消防本部および消防職員に向けた体力に関するアンケート調査の回答件数および今後の予定について

【消防庁講話】

「消防行政トピックス」



【新子委員長あいさつ】



【消防庁講話の様子】

消 防 本 部 の 動 き

行 事

◆ 「消防相互応援協定」を再締結

石橋地区消防組合消防本部（栃木）

石橋地区消防組合消防本部では、令和7年11月5日（水）、芳賀地区広域行政事務組合消防本部と「消防相互応援協定」を再締結しました。

この協定は、管轄境界付近で発生した災害に対し、管轄区域を越えた迅速な応援要請・出動を可能とすることで、広域的な災害対応力の強化を図ることを目的として再締結したものです。

この締結により、水火災、救急、その他の災害発生時において、両広域消防機関の消防力を相互に補完・活用し、地域住民の皆さまの生命、身体、財産を守り抜く強固な協力体制を構築することができます。

今後も、この協定を基盤とするとともに、合同訓練などを継続的に実施し、現場での連携能力を一層高めてまいります。



【締結後の記念撮影】

訓 練

◆ 他消防本部と合同で連携訓練（火災、救助、救出）を実施

益田広域消防本部（島根）

益田広域消防本部では、令和7年10月27日（月）、浜田市消防本部西部消防署と合同で、連携訓練（火災、救助、救出）を実施しました。

当日は、昨年7月に竣工した消防庁舎内にある新設模擬建物訓練棟を活用し、建物火災を想定した救出救助訓練を実施したほか、訓練後の検討会では、活発な意見交換が行われ、消防本部ごとの戦術の違いを再認識しました。

今後も、関係機関と連携した訓練を継続し、火災防ぎょ技術、救助技術、戦術のさらなる向上を図るとともに、地域住民の安全・安心の確保に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 消防防災航空隊と合同で「孤立集落救助対応合同訓練」を実施

松山市消防局（愛媛）

松山市消防局では、令和7年10月27日（月）、松山市野外活動センター多目的グラウンドにおいて、愛媛県消防防災航空隊と「孤立集落救助対応合同訓練」を実施しました。

この訓練は、地震、大雨、洪水などの多様化する自然災害による孤立集落の発生に備えるため、災害対応能力の向上と関係機関との連携強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、「局地的な大雨により土砂崩れが発生し、孤立した集落にけが人がいる。」との想定で、ドローンを活用した上空偵察の情報を「ライブ映像119」で同航空隊に映像を伝達し、リアルタイムに情報を共有する体制を再確認しました。

また、救助隊と救急隊の連携活動と同航空隊のホイストを活用した活動により、多数の要救助者を救出しました。

今後も、関係機関との連携訓練を継続し、さらなる災害対応能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】



【講評の様子】

◆ 土砂災害対応訓練を実施

上尾市消防本部（埼玉）

上尾市消防本部では、令和7年10月21日（火）から10月31日（金）までの期間中、上尾丸山公園において、土砂災害対応訓練を実施しました。

この訓練は、埼玉県土砂・風水害機動支援部隊の登録隊として、重機操作技術と土砂埋没救助技術の向上を図ることを目的として実施したものです。

期間中は、重機操作訓練用の走行コースにおいて、坂道走行、段差越え、片輪走行、道路啓開、悪路走行の技術の向上を図ったほか、想定訓練では、災害発生から救出までの流れを確認しながら活動しました。

今後も、あらゆる災害に対応できるよう、知識・技術の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 解体予定建物を活用した火災戦闘強化訓練を実施

豊橋市消防本部（愛知）

豊橋市消防本部では、令和7年10月17日（金）、24日（金）、31日（金）の3日間、三菱ケミカル株式会社東海事業所にご協力いただき、解体予定の建物を活用した火災戦闘強化訓練を実施しました。

この訓練は、各小隊が的確な連携活動を行うことで、指揮・消火・救助・排煙・水損防止などの一連の消防活動を円滑に行うことを目的として実施したものです。

当日は、実災害に近い環境下でブラインド型の想定訓練を行い、時間の経過とともに被害拡大する火災現場における活動優先順位の見極め、効果的かつ効率的な救出活動要領について再確認し、経験の浅い職員にとって貴重な経験となり、部隊全体の災害対応能力の向上につながる訓練となりました。

今後も、さまざまな訓練を数多く実施し、災害対応能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 首里城火災防御訓練を実施

那覇市消防局（沖縄）

那覇市消防局では、令和7年10月31日（金）、首里城公園において、首里城火災防御訓練を実施しました。

この訓練は、令和元年に発生した首里城火災を教訓とし、火災が発生した早朝に訓練を実施することで、首里城火災を経験していない職員へ伝承し、消防力の向上につなげるとともに、首里城公園の防災力の向上と関係機関との連携強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、自衛消防隊による火災の覚知、初期消火、119番通報訓練をはじめ、「首里城警防計画」に基づく消火活動などを実施しました。

今後も、首里城公園管理者と連携・協力し、首里城の防火対策に努めてまいります。



【首里城公園】



【訓練の様子】

◆ 柱上における感電救助対応訓練を実施

羽島市消防本部（岐阜）

羽島市消防本部では、令和7年11月4日（火）、中部電力パワーグリッド株式会社各務原営業所にご協力いただき、柱上における感電救助対応訓練を実施しました。

この訓練は、柱上における災害発生事案に備えるため、同社との連携強化と災害対応能力の向上を図ることを目的として実施しており、今年で2回目となりました。

当日は、高所作業車を活用した救助方法を各隊が順次実施し、救出時間の短縮と安全性の向上を図ることができ、大変有意義な訓練となりました。

今後も、他機関との合同訓練を継続し、安全・確実・迅速な救助活動に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ バイオマス発電所における火災想定訓練を実施

田原市消防本部（愛知）

田原市消防本部では、令和7年11月5日（水）、田原バイオマス発電所合同会社において、バイオマス発電所における火災想定訓練を実施しました。

この訓練は、火災発生時の119番通報などの初動対応要領、現場における消防機関への情報提供要領などを再確認していただくとともに、災害時における事業所との連携強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、事業所内の見学を行い、施設構造、主要設備、災害時の危険性について、事業所の担当者から詳細にご説明いただき、災害対応に必要な知識と理解を深めることができました。

また、実動訓練では、「施設内で粉塵爆発が発生した。」との想定で、当事業所からの消防機関への情報提供や指揮隊のドローンを活用した災害実態の把握など、スムーズな活動を実施し、災害発生時における連携強化を図ることができました。

今後も、当市に複数存在するバイオマス発電所との連携強化と災害対応能力の向上を図り、安全・安心なまちづくりにつなげてまいります。



【訓練の様子】



【ドローンによる災害実態把握の様子】

◆ 危険物施設における連携訓練を実施

湖南広域消防局（滋賀）

湖南広域消防局では、令和7年11月5日（水）、管内の危険物保有事業所であるイサム塗料株式会社と合同で、危険物施設における連携訓練を実施しました。

この訓練は、危険物施設における火災に備えるため、初動対応における事業所との連携体制を構築することを目的として実施したものです。

当日は、事業所による初期消火訓練と消防隊による泡消火訓練を実施し、火災発見から消火完了まで迅速な連携活動ができ、非常に有意義な訓練となりました。

今後も、さまざまな事業所との訓練に取り組み、消防活動能力と地域の防災力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 外国人傷病者対応訓練を実施

相模原市消防局（神奈川）

相模原市消防局では、令和7年11月5日（水）、6日（木）の2日間、北消防署において、ベトナム国籍とインドネシア国籍の4人にご協力いただき、外国人傷病者対応訓練を実施しました。

この訓練は、管内に多数の外国人が居住し、救急搬送の機会も多いことから、外国人傷病者への対応方法を再確認するとともに、救急現場における対応力の強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、「音声翻訳アプリ」や「きゅうきゅうあんしんHELPカード」などを活用し、外国人の方に対する有効で円滑なコミュニケーション方法を再確認することができました。

また、訓練後に振り返りを行い、文化や宗教の違いにより不快に思う言動や英語よりも「やさしい日本語」の方が伝わりやすい場合があることを知り、大変有意義な訓練となりました。

地域住民の安全・安心を守るため、傷病者に寄り添った救急活動に努めてまいります。



【訓練の様子】



【振り返りの様子】

◆ 企業と合同で消防訓練を実施

泉州南消防組合泉州南広域消防本部（大阪）

泉州南消防組合泉州南広域消防本部では、令和7年11月6日（木）、秋季全国火災予防運動の一環として、ヤスダエンジニアリング株式会社上之郷工作所と合同で消防訓練を実施しました。

当日は、消防車両7台（方面隊車両1台、救助工作車1台、はしご車1台、タンク車1台、ポンプ車2台、救急車1台）が参加し、「事業所内にある2階建て工場の2階部分から出火し、建物内に逃げ遅れた者がいる。」との想定で、事業所従業員による初期消火訓練と通報訓練を行ったほか、当消防本部による救助救出訓練、消火訓練を実施しました。

今後も、火災予防運動などの機会を捉え、さまざまな活動を実施し、火災予防を呼びかけてまいります。



【訓練の様子】

◆ 「令和7年度高知県消防長会東部ブロック会消防救助合同訓練」を実施

南国市消防本部（高知）

南国市消防本部では、令和7年11月7日（金）、南国市立スポーツセンタータワーにおいて、「令和7年度高知県消防長会東部ブロック会消防救助合同訓練」を実施しました。

この訓練は、近年、ロープレスキューの機運の高まりを受け、特殊な条件下で訓練を実施することで、さらなる救助技術の向上を図るとともに、各消防本部との交流を深めることを目的として実施したものです。



【訓練の様子】

◆ 警防合同訓練を実施

可茂消防事務組合消防本部（岐阜）

可茂消防事務組合消防本部では、令和7年11月9日（日）、岐阜県消防学校において、西可児分署および可児市消防団と警防合同訓練を実施しました。

この訓練は、消防団との消防活動に関する相互理解を深めるとともに、災害発生時において効率的な連携活動を展開することを目的として実施したもので、同消防学校の街区訓練施設を活用した訓練は初の試みとなりました。

当日は、悪天候の中、安全かつ迅速な消防活動を実現するため、相互に協力し合い訓練に励む姿が見られ、大変有意義な訓練となりました。

今後も、相互の協力体制の構築と連携強化を図るとともに、災害対応能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】



【訓練後の検討会の様子】

◆ 複合施設で消防総合訓練を実施

行田市消防本部（埼玉）

行田市消防本部では、令和7年11月11日（火）、市内の複合施設であるJAほくさい行田中央支店において、秋季全国火災予防運動の一環として、消防総合訓練を実施しました。

この訓練は、効率的な消防活動能力を習得するとともに、自主防災組織との連携強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、来客者が見学する中、事業所職員による119番通報、初期消火、屋外への避難誘導を行ったほか、職員による三連梯子を活用した救出訓練と放水訓練を実施し、同事業所の火災予防意識の高揚と連携強化を図ることができました。

今後も、各種訓練を通じて、自主防災組織との連携強化と消防活動技術力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

研 修

◆ 「女性消防吏員研修会」を開催

熊谷市消防本部（埼玉）

熊谷市消防本部では、令和7年10月29日（水）、女性消防吏員を対象とした「女性消防吏員研修会」を開催しました。

この研修会は、ワークスタイルの確立およびキャリア形成についての意見交換を行うことで、女性消防吏員が抱える不安を解消することを目的として開催したものです。

当日は、「自分らしく仕事をするためのキャリアビジョンとプランニング」および「施設、装備、待遇についての意見および推奨する取り組みなど」と題し、年代を問わず活発な意見交換を行うことができました。

今後も研修会を継続し、女性消防吏員の意見を取りまとめる場として、あたたかい雰囲気ですぐに「話せる場」を設け、組織全体の活性化や心理的な支えとなるよう努めてまいります。



【研修会の様子】

◆ 「火災原因調査事例発表会」を開催

袋井市森町広域行政組合袋井消防本部（静岡）

袋井市森町広域行政組合袋井消防本部では、令和7年10月31日（金）、「火災原因調査事例発表会」を開催しました。

この発表会は、火災件数が年々減少傾向にある中で、火災原因調査技術の向上を図ることを目的として開催したものです。

当日は、職員40人が参加し、過去に当消防本部管内において発生した火災の4事例を基に、火災原因調査の手法や火災報告書作成方法などについて教養を行い、知識・技術の向上につなげることができました。

今後も、このような研修を継続し、幅広い知識の習得を図るとともに、火災原因調査の体制強化に努めてまいります。



【発表会の様子】

◆ 「塵芥車（ゴミ収集車）の構造説明会」を開催

中津川市消防本部（岐阜）

中津川市消防本部では、令和7年10月30日（木）、31日（金）の2日間、地元企業の東清株式会社にご協力いただき、「塵芥車（ゴミ収集車）の構造説明会」を開催しました。

当日は、普段、目にする事のない車両内部の構造、テールゲートやプレスプレートの操作方法、救助事案や火災発生時の対応方法について再確認しました。

また、近年、モバイルバッテリーやカセットガスボンベの混入による塵芥車の火災が増えている現状を認識し、火災予防のためには、「正しいゴミの出し方」を住民に呼びかけることが重要であることを実感しました。



【車両内部の構造説明の様子】



【操作方法説明の様子】

◆ 「消防職員メンタルヘルスセミナー」を開催

柏崎市消防本部（新潟）

柏崎市消防本部では、令和7年11月5日（水）、6日（木）の2日間、全職員を対象とした「消防職員メンタルヘルスセミナー」を開催しました。

当日は、武蔵野大学心理臨床センター精神保健福祉士の笹川真紀子氏を講師としてお招きし、「職場のコミュニケーションーハラスメントとメンタルヘルス」と題し、ハラスメントの基礎知識をはじめ、人材育成、パワハラ予防、コミュニケーション、メンタルヘルスなどについて、事例を踏まえながらご講義いただきました。

今後も、全職員でハラスメント防止に取り組み、一人一人が互いに思いやり、安心して働きやすい職場づくりに努めてまいります。



【セミナーの様子】

◆ 「電気自動車の事故対応について」職員研修会を開催

伊勢原市消防本部（神奈川）

伊勢原市消防本部では、令和7年11月5日（水）、6日（木）の2日間、「電気自動車の事故対応について」の職員研修会を開催しました。

この研修会は、電気自動車の事故発生時において、安全かつ確実に活動することを目的として開催したものです。

当日は、日産自動車株式会社から講師をお招きし、座学において、車両の特徴や構造、救助活動時の注意点などをご講義いただいた後、実車を用いて活動時の安全措置についてご説明いただきました。

今回の研修で得た知識を踏まえ、近年増加している電気自動車への対応について改めて検討し、より安全で確実な活動の実現に取り組んでまいります。



【研修会の様子】

◆ 「消防職員研修会」を開催

川口市消防局（埼玉）

川口市消防局では、令和7年11月7日（金）、埼玉県消防長会第1ブロック消防長会（当消防局、さいたま市消防局、蕨市消防本部、上尾市消防本部、戸田市消防本部、埼玉県央広域消防本部）が主催する「消防職員研修会」を開催しました。

この研修会は、同ブロック内の消防本部の幹部職員を対象として、毎年開催しているものです。

当日は、150人以上が参加し、神戸市消防局警防部警防課長の田内健作氏を講師としてお招きして、「神戸市消防局の伝承～30年で積み上げた震災対応の警防力～」をテーマにご講義いただきました。

当時の映像や経験談を通じて、神戸市消防局が長年積み重ねてきた震災対応力の向上についての具体例を学ぶとともに、伝承の重要性を再認識することができ、防災に関する理解を深める非常に有意義な研修会となりました。

今後も、組織運営・人材育成の一助とするため、研修会を継続してまいります。



【研修会の様子】



【記念撮影】

◆ 「女性消防吏員活躍推進研修会」を実施

豊岡市消防本部（兵庫）

豊岡市消防本部では、令和7年11月7日（金）、兵庫県但馬地域を管轄する3消防本部（豊岡市、南但、美方広域）で定期開催している「但馬地区女性消防職員交流会」の一環として、「女性消防吏員活躍推進研修会」を実施しました。

この研修会は、女性消防吏員の活躍推進を図ることを目的として実施したものです。

当日は、総務省消防庁女性活躍推進アドバイザーである原田小砂子氏を講師としてお招きし、女性消防吏員が勤務を継続していくための環境づくりや女性消防吏員の採用数増加に向けた取り組みなど、さまざまな観点からご講演いただき、非常に有意義な研修会となりました。

また、今回新たに、隣接する京都府3消防本部（福知山市、宮津与謝消防組合、京丹後市）の女性消防吏員にもご参加いただき、講演後には座談会を開催し、交流の輪が広がるなど大変有意義な研修会となりました。

今後も、さまざまな観点から女性消防吏員の活躍推進に向けて取り組んでまいります。



【講演の様子】



【座談会の様子】

その他の

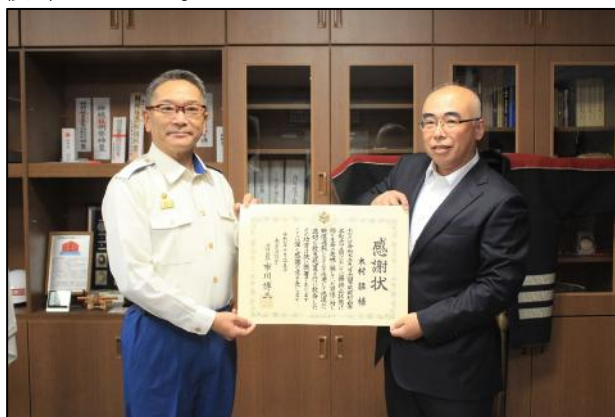
◆ 救命協力者に消防総監感謝状を贈呈

東京消防庁（東京）

東京消防庁北多摩西部消防署では、令和7年10月25日（土）、救命協力者（2人辞退）に対して、消防総監感謝状を贈呈しました。

本事案は、同年9月14日（日）、武蔵村山市内において、サイクリング中に路上で心肺停止となった友人に対し、付近を通行していた2人と救命協力者が連携し、119番通報と「L I V E 1 1 9」を活用した口頭指導に基づく胸骨圧迫を行ったものです。

友人は、救急隊到着前に呼吸、脈拍が回復し、ドクターヘリにより医療機関へ搬送され、搬送先の病院で治療後、社会復帰しました。



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 「消防ファミリーデー」を開催

駿東伊豆消防本部（静岡）

駿東伊豆消防本部では、令和7年11月1日（土）、田方中消防署において、職員の家族を対象とした、「消防ファミリーデー」を開催しました。

このイベントは、職員のご家族を招いて職場見学会を開催することで、消防の取り組みや仕事について理解を深めていただき、消防という仕事への誇りを共有するとともに、家族の理解と協力に対する感謝の気持ちを伝えることを目的として開催したものです。

当日は、一日の業務内容を説明した後、庁舎・消防車両の見学、訓練展示、救急体験、放水体験、119番通報体験などのさまざまな体験を実施したほか、イベントの最後には、職員が普段食べている「消防うどん」の試食会も行いました。

このイベントを通じて、ご家族が消防への理解を深め、ファンになっていただくとともに、職員の帰属意識を高め、仕事に対するモチベーションの向上を図ることができ、有意義な機会となりました。



【イベントの様子】

◆ 体験型防火啓発（消防フェア）を実施

串本町消防本部（和歌山）

串本町消防本部では、令和7年11月1日（土）、国の名勝天然記念物に指定されている橋杭岩に隣接する「道の駅くしもと橋杭岩」において、町民および観光客を対象とした、体験型防火啓発（消防フェア）を実施しました。

このイベントは、同道の駅を運営委託している熊野観光開発株式会社にご協力いただき、防火・防災意識の高揚を図ることを目的として、毎年実施しているものです。

当日は、子ども用活動服、救助服、防火服を着用した放水体験・記念撮影、消防車両の展示、起震車による地震体験を行ったほか、女性消防団員による住宅用火災警報器の設置促進と消火器取り扱い体験を実施し、参加者の中には、すべてのコーナーを体験された方も多く見受けられました。

このイベントを通じて、防火・防災に興味を持っていただくことができ、防火・防災啓発活動の重要性を改めて感じた1日となりました。



【イベントの様子】

◆ 消防指令センター広報イベントを開催！

中東遠消防指令センター（静岡）

中東遠消防指令センター（磐田市消防本部、袋井市森町広域行政組合袋井消防本部、掛川市消防本部、菊川市消防本部、御前崎市消防本部で共同運用）では、令和7年11月2日（日）、消防指令センター広報イベントを開催しました。

このイベントは、令和6年度に全更新を行った指令システムおよび公式Instagramを周知することを目的として、初めて開催したものです。

当日は、「中東遠消防指令センターってどんなところ？～中東遠地域の消防車も大集合～」と題して、普段入ることができない指令室の見学、広報用指令台体験、通報体験、職員が手作りするスタンプラリーイベントを行ったほか、共同運用している全消防本部の消防車両が駆け付け、各消防本部の消防車や防火服の違いなどを楽しんでもいただきました。

今後も、市民に寄り添う通信指令業務に努めてまいります。



【イベントの様子】

◆ 「Fire Station Open Day 2025」を開催

新宮市消防本部（和歌山）

新宮市消防本部では、令和7年11月2日（日）、市民を対象とした、「Fire Station Open Day 2025」を開催しました。

このイベントは、消防に関する体験・見学や職員との交流を通じて、災害に対する備えの重要性を実感し、防火・防災意識の向上につなげるとともに、消防の役割や活動への理解と信頼を深めていただくことを目的として開催したものです。

当日は、子供から大人まで多くの市民に参加していただき、放水、はしご車搭乗、ロープ渡過などの体験プログラムを行ったほか、建物火災を想定した消防訓練や各種消防車両などの見学プログラムを実施しました。

今後も、市民との交流を通じて、防災意識の高揚を図るとともに、消防活動への理解促進に努めてまいります。



【イベントの様子】

◆ 消防防災フェアを開催

糸島市消防本部（福岡）

糸島市消防本部では、令和7年11月2日（日）、消防防災フェアを開催しました。

このイベントは、令和4年度から開催しており、毎年、多くの市民が参加し、大盛況をいただいております。

当日は、1,500人を超える方が来場し、株式会社テレビ西日本アナウンサーの高木晴菜さんに一日消防長を委嘱し、防災力の強化と火災予防について広報していただきました。

また、はしご車試乗、消防ホースによる放水、防火衣装着などの体験のほか、災害時の正しい行動を学ぶ防災クイズなどを実施し、会場内は、子どもが一生懸命に取り組む真剣な眼差しと上手く出来た時の満面の笑みで溢れました。

今後も、市民の皆さまに対し、楽しみながらも防災意識を高めていただけるような消防防災フェアを企画してまいります。



【一日消防長による広報活動】



【放水体験】

◆ 「お菓子作り防火教室」を開催

松本広域消防局（長野）

松本広域消防局では、令和7年11月6日（木）、松本市内の小学校において、小学6年生の児童を対象とした、「お菓子作り防火教室」を開催しました。

このイベントは、火災予防の啓発、住宅用火災警報器の設置・維持管理の促進、幼少期からの防火意識の育成を図ることを目的として開催したものです。

当日は、レシピを考案した松本第一高校食生活研究同好会の生徒を講師としてお招きし、住宅用火災警報器をイメージした丸型のレアチーズケーキの中央に赤いジャムを添えて炎を表現したスイーツ「ジュウケーキ」を作り、楽しみながら防火の大切さを学んでいただきました。

今後も、地域と連携した防火・防災教育を積極的に推進してまいります。



【お菓子作り防火教室の様子】



【ジュウケーキ】

◆ 「第41回水俣芦北地区屋内消火栓操法大会」を開催

水俣芦北広域行政事務組合消防本部（熊本）

水俣芦北広域行政事務組合消防本部では、令和7年11月7日（金）、水俣芦北地区防火管理者連絡協議会が主催する「第41回水俣芦北地区屋内消火栓操法大会」を開催しました。

この大会は、事業所における防災能力と防火意識を高め、安全・確実かつ迅速な自衛消防活動を推進するとともに、各事業所間の親睦と交流を深めることを目的として、昭和60年から開催されているものです。

当日は、管内の事業所から男女11チーム、延べ52人が出場し、規律、放水で標的を落とす速さなどを競い合い、出場した各隊員は、機敏な行動で観客を魅了し、大会は盛会のうちに終了しました。

今後も、管内の事業所の防火・防災意識の高揚に努めてまいります。



【操法大会の様子】

◆ 「防火ポスターコンクール」の入賞者に対する表彰式を実施

佐賀広域消防局（佐賀）

佐賀広域消防局では、令和7年11月8日（土）、管内の小中学生を対象とした、「防火ポスターコンクール」の入賞者に対する表彰式を実施しました。

このコンクールは、火災予防に関するポスターを自由な発想でイメージし制作することで、火災予防に関心を持ち、防火意識の高揚を図ることを目的として実施したものです。

当日は、管内56の小中学校、計1,252作品の応募の中から選ばれた18作品の入賞者に対し、表彰状を贈呈しました。

今後は、最優秀賞に輝いた3作品をポスターデザインに採用し、管内の学校や事業所などへ配布する予定です。



【表彰式の様子】



【表彰式後の記念撮影】

◆ 「第34回消防ふれあい広場」を開催

前橋市消防局（群馬）

前橋市消防局では、令和7年11月9日（日）、東消防署において、秋季全国火災予防運動の一環として、「第34回消防ふれあい広場」を開催しました。

当日は、防火・救急相談コーナー、消防服着用体験、放水体験、車両展示、訓練展示など、来場者が楽しみながら火災予防について学べる企画を多数実施しました。

また、当市のマスコットキャラクター「ころとん」の登場や、モデルの加藤ナナさんに一日消防署長を委嘱し、これらの特別企画が好評を博し、会場を盛り上げることができました。

今後も、地域の皆さまとのふれあいを大切に、火災予防の啓発活動に取り組んでまいります。



【イベントの様子】

◆ 「消防フェア」を開催

明石市消防局（兵庫）

明石市消防局では、令和7年11月9日（日）、市内のショッピングセンターにおいて、秋季全国火災予防運動の一環として、「消防フェア」を開催しました。

このイベントは、火災予防の普及啓発を通じて、火災による死傷者や財産損失を防ぐとともに、「#7119」の広報により不適正な救急需要を減少させることを目的として実施したものです。

当日は、火災予防などの普及啓発活動のほか、煙の中から屋外への避難体験、119番通報体験、ロープ結索体験、救急車両展示などを行い、参加者の防災意識の向上につながる良い機会となりました。

今後も、市民の防災意識を高めるため、積極的な啓発活動に取り組んでまいります。



【イベントの様子】

◆ 「多治見市消防本部特別査察」を実施

多治見市消防本部（岐阜）

多治見市消防本部では、令和7年11月10日（月）、秋季全国火災予防運動の一環として、「多治見市消防本部特別査察」を実施しました。

この特別査察は、空気が乾燥し火災が発生しやすくなる時期を迎えるに当たり、大規模施設の防火対策に万全を期すとともに、市民に対して火災予防を訴え、防火に対する意識の向上につなげることを目的として実施したものです。

当日は、JR多治見駅と周辺の建物（アスティ多治見、プラティ多治見、中之郷ビルディング）に対し、消防長、南消防署、北消防署、笠原消防署、予防課職員が合同で立入検査を実施しました。

火災による被害を最小限に抑えることはもちろんですが、火災を無くすことが我々の本懐であり、今後も、我々に出来ることを常に考え、多治見市全体の防火意識の向上に努めてまいります。



【特別査察の様子】

◆ 「秋の火災予防コラボイベント」を開催

奈良市消防局（奈良）

奈良市消防局では、令和7年11月10日（月）、マクドナルド奈良北店において、奈良市マクドナルドフランチャイジーと奈良を代表するプロバスケットボールチームのバンビシャス奈良にご協力いただき、秋季全国火災予防運動の一環として、「秋の火災予防コラボイベント」を開催しました。

当日は、各スタッフがオリジナルワッペンを着用し、奈良市消防局マクドナルド隊としてイベント限定の啓発ティッシュを配布したほか、消防服の着用体験、消防車との記念撮影、フリースロー体験などを実施しました。

また、当消防局のマスコットキャラクター「なっぴい」とバンビシャス奈良のマスコットキャラクター「シカッチェ」も登場し、来場者とのふれあいを通じて、防火について楽しく学んでいただくとともに、地域との連携を深め、幅広い世代に防火を意識付けることができました。

今後も、地域と消防のつながりを大切に、火災予防の普及啓発に努めてまいります。



【イベントの様子】

◆ 児童を対象とした防火教室を実施

横須賀市消防局（神奈川）

横須賀市消防局では、令和7年11月5日（水）、12日（水）の2日間、横須賀市大矢部防火・防災クラブと横須賀市長井防火・防災クラブにご協力いただき、市内の小学3年生や幼稚園・保育園などの児童を対象とした防火教室を実施しました。

この防火教室は、子どもたちの防火意識の向上と火災予防意識の定着を図ることを目的として、年間を通じて実施しているもので、令和6年度中は128施設、計8,078人が参加しました。

当日は、子ども防火衣の着用や記念撮影を行ったほか、防火・防災クラブ員と予防係職員が映像やイラストを使い、「火事を防ぐにはどうする？」、「火事的时候はどうする？」をテーマに分かりやすく解説しました。

また、各隊の消防車両や装備の説明を行い、間近で見た子どもたちは歓声を上げており、安全への意識と防火の大切さが伝わる有意義なイベントとなりました。

今後も、市民と協力しながら防火・防災教育を進め、安全・安心な地域づくりに努めてまいります。



【イベントの様子】

国等の動き

消防庁通知等

◆ BIM図面審査・確認申請用CDEに関する説明会等のご案内について

（事務連絡、令和7年11月11日）

消防庁予防課から各都道府県消防防災主管課、東京消防庁・政令指定都市消防本部あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

平素から消防行政に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

消防同意については、「規制改革実施計画」（令和4年6月7日閣議決定）において建築確認に付帯する手続として電子化の推進が求められていること等を踏まえ、令和7年4月から国土交通省において運用開始された電子申請受付システム及び令和8年4月から運用開始予定である「BIM図面審査・確認申請用CDE」の積極的な導入をお願いしているところです。

今般、一般財団法人建築行政情報センターから、別添のとおり説明会開催の案内がありましたのでお知らせします。本説明会は、「BIM図面審査・確認申請用CDE」に関する全般的な説明会であり消防同意に特化した説明会ではありませんのでご注意ください。（別添省略）

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/251111_yobou_jimul.pdf）に掲載されています。

消防庁予防課予防係

担当：川合、谷川、櫻川

TEL：03-5253-7523

Email：yobouka-y@ml.soumu.go.jp

◆ 対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部を改正する省令等の公布等について

(消防予第444号、令和7年11月12日)

消防庁次長から各都道府県知事、各指定都市市長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部を改正する省令（令和7年総務省令第101号。以下「改正省令」という。）及び対象火気設備等及び対象火気器具等の離隔距離に関する基準の一部を改正する件（令和7年消防庁告示第10号。以下「改正告示」という。）が令和7年11月12日に公布されました。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/251122_yobou_2.pdf) に掲載されています。

◆ 改正火災予防条例（例）の運用等について（通知）

(消防予第496号、令和7年11月12日)

消防庁予防課長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

今般、「対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部を改正する省令等の公布等について」（令和7年11月12日付け消防予第444号）により示したとおり、対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令（平成14年総務省令第24号。以下「省令」という。）、対象火気設備等及び対象火気器具等の離隔距離に関する基準（平成14年消防庁告示第1号。以下「告示」という。）及び火災予防条例（例）（昭和36年11月22日付け自消甲予発第73号。以下「条例（例）」という。）を改正公布したところです。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/396294f4e74f7cd5dd7b6eeb6714ee6ffd077404.pdf>) に掲載されています。

消防庁予防課

担 当：川合、谷川、中臺

電 話：03-5253-7523

E-mail：yobouka-y@ml.soumu.go.jp

◆ 「火災予防条例（例）中に規定する標識類及び届出書の様式について」の一部改正について（通知）

（消防予第497号、令和7年11月12日）

消防庁予防課長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

「対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部を改正する省令等の公布等について」（令和7年11月12日付け消防予第444号）により、サウナ設備としての規制が適用されていた一定の範囲のサウナ設備について、安全性の検証を踏まえ、その特性に応じた内容となるよう所要の見直しが行われました。これに伴い、〇〇市（町・村）火災予防条例（例）（昭和36年11月22日付け自消甲予発第73号）についても、同様の改正が行われたところです。

このため、「火災予防条例（例）中に規定する標識類及び届出書の様式について」（昭和37年1月19日付け自消丙予発第3号）で定める届出書の様式の一部を別添のとおり改正することとしました。（別添省略）

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/251112_yobou_497.pdf）に掲載されています。

消防庁予防課

担 当：谷川、中臺

電 話：03-5253-7523

E-mail：yobouka-y@ml.soumu.go.jp

◆ リチウムイオン電池等から出火した火災の調査について（通知）

（消防予第509号、令和7年11月14日）

消防庁予防課長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

平素から消防防災行政に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

近年、リチウムイオン電池を搭載した製品から出火した火災について、社会的関心が高まっており、当該火災に対する対策の徹底が求められています。このため、今般、リチウムイオン電池等から出火した火災について、調査することといたしましたので、下記により当該火災の報告にご協力いただきますようお願いいたします。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/251114_yobou_509.pdf）に掲載されています。

消防庁予防課

予防係 川合、谷川、櫻川

電話：03-5253-7523

報道発表

◆ 対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部を改正する省令（案）等に対する意見公募の結果及び改正省令等の公布

（令和7年11月12日、消防庁）

対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部を改正する省令（案）等について、令和7年7月23日（水）から令和7年8月26日（火）までの間、意見を公募したところ、17件の意見の提出がありました。この結果を踏まえて、本日、「対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部を改正する省令」等を公布しましたのでお知らせします。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/251112_yobou_1.pdf）に掲載されています。

（事務連絡先）

消防庁予防課 服部補佐、松下

TEL 03-5253-7523（直通）

E-mail:yobo_atmark_soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。送信の際には「@」に変更してください。

◆ 危険物取扱者試験に関する試験問題誤りの再発防止

（令和7年11月14日、消防庁）

（一財）消防試験研究センターから、同センターが実施した危険物取扱者試験において、試験問題に誤りがあったとの報告がありました。

これを受け、消防庁では（一財）消防試験研究センター理事長あてに、別添通知文（令和7年11月14日付け「危険物取扱者試験に関する試験問題誤りの再発防止について」）を送付し、再発防止策の徹底及び試験の適正かつ確実な実施を確保するよう指示しました。（別添省略）

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/12b7d1708361fe0264d14d4e7bb5efa746d5684a.pdf>）に掲載されています。

（連絡先）

消防庁危険物保安室

石野、齋藤、藤ヶ崎

TEL：03-5253-7111（代表）

03-5253-7524（直通）

情報提供

◆ 「第37回全国消防本部対抗駅伝競走大会」の開催案内について

東京消防庁（東京）

東京消防庁陸上競技部会では、全国の消防本部などの同好者との交流を図り、相互の理解を深め、今後の消防業務に資することを目的として、恒例の全国消防本部対抗駅伝競走大会を以下のとおり開催しますので、ご参加くださいますようご案内申し上げます。

- 1 大会名
第37回全国消防本部対抗駅伝競走大会
- 2 日時
令和8年2月21日（土） 12時30分スタート（受付：10時30分開始）
- 3 場所
国営昭和記念公園（東京都立川市緑町3173）※公園内周回コース
- 4 競技実施方法
1区間5.0km×5区間
- 5 チーム編成
正選手5人、補欠2人、監督1人（監督は、選手を兼ねることが出来ます。）
各消防本部とも、原則1チームとし、2チーム目以降は、オープン参加とします。
- 6 申込方法
 - (1) 参加申込み
メールの記事欄に「消防本部名」、「担当者名」および「連絡先（電話番号およびメールアドレス）」を記載し、問合せ先のメールアドレス宛に送信してください。
 - (2) 締切日
令和7年12月31日（水）
申込み後に大会申込書を提出（令和8年1月15日（木）までの予定）していただきますので、申込みは早めをお願いします。
 - (3) 大会申込書（選手名簿）の提出
(1)により申込みをされた消防本部に、大会申込書、大会詳細などをメールで返信しますので、1週間を経過しても返信がない場合は、電話などにて確認をお願いします。
大会申込書の提出をもって参加申込みが完了となりますので、ご注意ください。
- 7 参加料
1チーム 25,000円
（公園入場料、アスリートビブス代、傷害保険代、参加賞代などを含む。）
- 8 その他
申込みおよび問い合わせなどは、担当（中根）の以下のメールアドレスへお願いします。

【問い合わせ先】

担 当：中根 啓吾

電 話：090-6137-4045

メー ル：keigo.59.1234567890@gmail.com

機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事

②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報（No.0716）1ページ、機関誌「ほのお」2025年4号（4/25発刊）29ページを参照願います。

TEL：03-4500-6622 機関誌「ほのお」担当：企画課 中西

原稿データは、kikakoho@fcj.gr.jpに送信願います。

④消防ワイド

【特徴】

- ・写真中心のビジュアルな広報
- ・紙媒体により記録性に優れる広報

【留意事項】

- ・文章は、Wordで100文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。
- ・消防ワイド、週間情報の両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

TEL：03-4500-6622 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課 中西

原稿データは、honoo@ffaj-shobo.or.jpに送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

- ・原則毎週刊行される、速報性のある広報
- ・文章中心の情報量が多い広報

【留意事項】

- ・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200～400文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1～2枚をWordに貼り付けて送付してください。
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者からメールを返信させていただきます。

TEL：03-4500-6622「週間情報」担当：企画課 吉田

原稿データは、weekly@fcj.gr.jpに送信願います。